

広報

活力あふれ
ひとが輝く
安らぎのまち

伊万里

平成23年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル
(平成 22 年 10 月 10 日：国見台陸上競技場)

平成 23 年度 当初予算総額

209 億 9700 万円

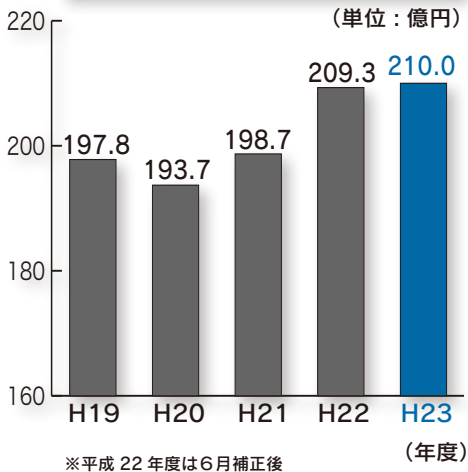
一般会計

長引く地域経済の停滞に伴い、市税などの増加が期待できない中で、扶助費をはじめとする義務的経費の増大が見込まれるなど厳しい財政状況が予想されます。

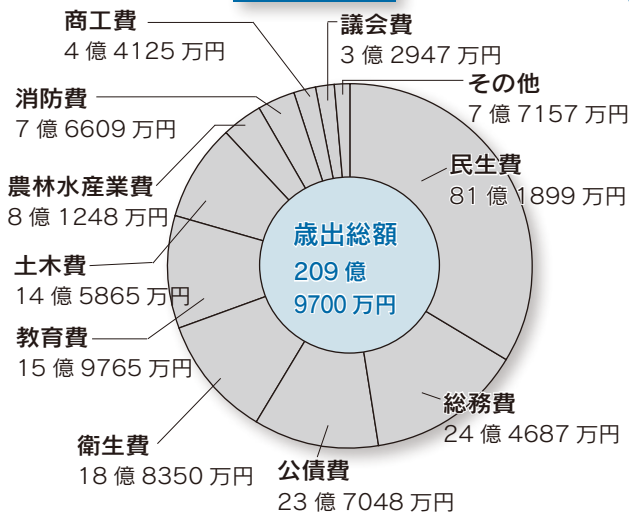
このため今年度は、行財政改革の一層の推進により経費縮減と歳入確保を図る一方、歳出では、都市計画道路大坪木須線の整備に取り組みとともに、新統合病院建設や休日・夜間急患医療センターの新築移転、二里小学校の校舎改築に向けた基本設計の経費に重点的な投資を行うなど、限られた財源を効果的に配分し、緊急性・必要性を考慮した予算の編成に努めました。

その結果、平成23年度の伊万里市一般会計当初予算は、総額で209億9700万円となりました。これは、平成22年度と比較すると0.3%の増加となります。

一般会計予算額の年度別推移

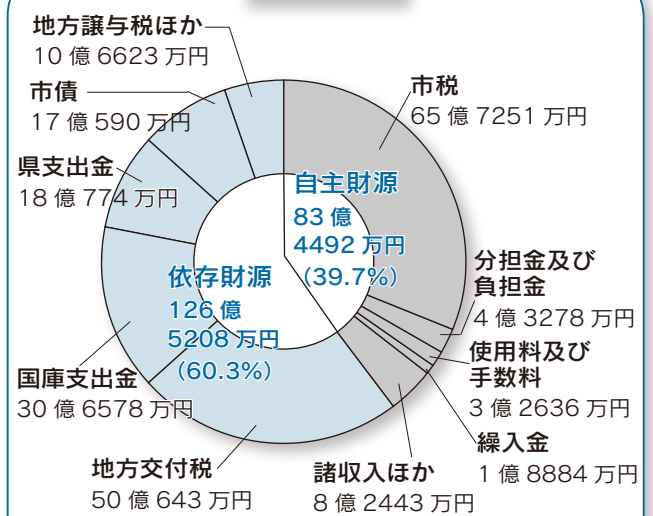


歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 農林水産業費…農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

歳入



- 市 税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 分担金・負担金…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料…施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 市 債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	66億8,430万円
介護保険	51億9,554万円
立花台地開発事業	1,881万円
公共下水道事業	20億5,803万円
農業集落排水事業	1億1,719万円
市営駐車場	1,330万円
後期高齢者医療	12億4,901万円
計	153億3,618万円

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億4,566万円	10億7,487万円	3億3,778万円
	支出	13億4,566万円	10億7,487万円	3億3,778万円
資本的収支	収入	5億2,669万円	2億1,112万円	4億255万円
	支出	19億7,434万円	2億8,514万円	4億342万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	212億3,250万円	
特別会計	公共下水道事業	141億8,652万円
	農業集落排水事業	12億9,271万円
	計	367億1,173万円

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	49億5,929万円
	工業用水道事業	155億9,680万円
	病院事業	1億9,231万円
	計	207億4,840万円

※平成23年3月補正後の金額です
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成23年度は、表1のとおり7つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、153億3618万円となっています。

■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療

給付を行うための会計です

■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

■立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

■公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

■農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

■市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

■後期高齢者医療特別会計

『後期高齢者医療制度』の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域連合へ納付する会計です



企業会計

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の3つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、

使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

■病院事業特別会計

市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に事業運営や施設整備などを行う会計です

市債現在高

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

施策を着実に進めていきます

豊かな『実り』へ前進

真に自立した地域社会をめざし

情熱をもって果敢に挑戦

平成23年第1回定例市議会（3月議会）で、塚部市長が平成23年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介いたします。

平成23年 第1回定例会 所信表明

はじめに

昨年4月、3期目の市政運営について負託をいただいた以来、市民の皆さんのまちづくりに対する熱い想いや市政への期待の大きさを肌で感じ

ながら、今日まで和の心をもって政策の推進に努めてきました。

また、大きな課題であった山代町浦ノ崎地区の埋立免許失効地や黒澤記念館の問題が解決に向け動き出すとともに

に、新統合病院の着工や伊万里港の重点港湾への選定、西九州自動車道の平成26年度伊万里市域への供用開始、さらには、国道498号大坪バイパスや井手口川ダムの事業進捗など、市政発展の礎を築くことができました。

これまで取り組んできた大型プロジェクトをはじめ、事業の一つ一つを日々の努力により一歩でも前に進め、豊かな『実り』へと結び付け、幾多の歴史の変遷を経て着実な成長を遂げてきたこの伊万里を、真に自立した地域社会へとさらに高めていくことが、私の使命であると、決意を新たにしています。

時代潮流と社会情勢

さて、わが国の経済は、世界的な金融危機による景気の後退から、国の緊急経済対策により一部持ち直しの動きが

見られるものの、デフレや急速な円高の進行などにより回復は鈍化し依然厳しい状況にあることから、雇用不安や所得の減少を引き起こすなど、社会の閉塞感や将来への不透明感が強まっています。

国においては、環太平洋パートナーシップ協定をはじめ、雇用対策や社会保障制度改革、さらには、社会的孤立への対応や政治改革など、元気な日本の復活に向けた新成長戦略が示されています。

また、地域主権改革として義務付けと枠付けの見直しや一括交付金の創設が進められるなど、地方自治体の自主・自立的な行財政運営がこれまでも増して求められています。

市政運営の基本方針

このように、市民生活に直接かかわる地方自治体の政策形成能力が問われる時代を迎えた今、私は、少子高齢化への対応や地域医療の確保、さらには財政の健全化など、本市が直面する政策課題に正面から立ち向かい、将来の進むべき方向を見据える先見性と何事にも果敢に挑戦する情熱をもって、市政の発展に全力を傾注していきます。



伊万里市長
塚部 芳和

もうすぐ
実を結びます!

市民の願いの実現に向け

新統合病院

平成 23 年 12 月 開院予定

井手口川ダム

平成 23 年度 ダム本体・周辺整備完了

伊万里港水深13メートル岸壁

平成 24 年度 完成予定

西九州自動車道

平成 26 年度 谷口 IC まで開通予定

平成 26 年度 山代 IC ~今福 IC まで開通予定

広域ごみ処理施設

平成 27 年度 供用開始予定

主要な施策

政策の推進にあたっては、本市の将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現をめざし、重点的な事業の展開に努めてまいります。

安心と安全の確保

県西部保健医療圏における中核的役割を担う新統合病院については、本年12月の開院に向け有田町と一体となつて事業を推進するほか、休日・夜間急患医療センターを現在の隣接地に新築移転するとともに、子宮頸がんや細菌性髄膜炎を予防するためのワクチン接種費用を助成するなど、市民の皆さんの尊い命と健康を守るための施策に取り組めます。

また、県西部地区4市5町により松浦町において整備を進めている広域ごみ処理施設については、引き続き環境影響評価を実施するとともに、処理システムを決定し、敷地や取付道路の用地測量を行うなど事業推進に努めます。

将来に向けたつとめ

明日の伊万里を担う子ども

たちの教育環境の充実を図るため、学校の耐震診断に引き続き取り組むとともに、二里小学校の校舎改築に向けた基本設計を行うほか、子どもの感性を高め創造力を育むことを目的として、すべての小中学校において家読をはじめ読書活動への取り組みを推進します。

また、活気に満ちた地域をめざし各町において主体的に取り組まれているまちづくり活動を促進するとともに、市民活動団体などが自ら企画し実行する事業を支援するなど、市民との協働によるまちづくりを進めます。

さらに、昨年4月に設置した婚活応援課において、独身の皆さんの結婚を支援するため相談や出会いの場の提供などに取り組むとともに、近隣自治体と連携を図り、多くの幸せなカップルの誕生をめざします。

産業振興と都市基盤整備

山代町浦ノ崎地区において、航路浚渫土砂などの埋立地として佐賀県で整備が進め

られている廃棄物処理用地について、地域や民間企業などの連携により将来を見据えた開発の方向性を見いだすとともに、関係機関への提案活動などに取り組めます。

また、松島郷地区において、引き続き都市計画道路大坪木須線の整備に取り組むとともに、長年の課題であった浸水対策についてはポンプ場建設に着手します。

さらに、福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道については、平成26年度の供用開始が決定した唐津伊万里道路の谷口インターチェンジ（仮称）までの一日も早い開通をめざし市内工区のさらなる事業促進を図るとともに、伊万里港については、大型化するコンテナ船への対応として水深13メートル岸壁の整備が平成24年度完成に向け国の直轄事業で進んでいることから、ガントリークレーンの早期設置について、佐賀県に対し働きかけを強化するなど、成長著しい東アジアに向けた国際物流港としての基盤整備を進めます。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。